

チャペル週報

No.22

2018.11.12 ~ 11.16

何事にも時があり

天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

(コヘレトの言葉 3章1節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

11月12日(月) 神 賛美歌⑧ 柳澤 田実(神学部准教授)
経 人間を考える① 利光 強(経済学部教授)
人 溝畑 潤(人間福祉学部教授)
理 前川 裕(宗教主事)
聖和 聖書物語「イエスとの最後の晩餐」

11月13日(火) 神 金 潤貞(神学研究科M2)
文 加納 和寛(神学部教授)
社 「いのち」について考える② 藤井 美和(人間福祉学部教授)
法 七瀬 優介(法学部3年)
経 人間を考える② 松枝法道(経済学部教授)
商 音楽チャペル ゴスペルクワイア "P.O.V."
国 世界市民となるために 油井 美春(国際学部専任講師)
理 前川 裕(宗教主事)
総 三道 弘明(総合政策学部教授)
教 佐藤 真(教育学部教授)

11月14日(水) 院 Andreas Rusterholz(文学部宗教主事)
神 橋本 いずみ(日本基督教団 西宮一麦教会牧師)
社 "Meal for Refugees"(難民のための食事)について
K.G. Meal for Refugees@上ヶ原 学生有志
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 井上 智(神学部助教)
商 山本 俊正(宗教主事)
人 桜井 智恵子(人間福祉学部教授)
理 橋本 秀樹(理工学部教授)
総 J-FunユースK.G.
教 渡邊 伸樹(教育学部教授)

11月15日(木) 神 山内 慎平(神学研究科M2)
文 永田 雄次郎(関西学院大学名誉教授)
社 「いのち」について考える③ Ruth M. Grubel(宣教師)
法 音楽チャペル 聖歌隊
商 永田 秀樹(司法研究科教授)
国 Chapel in English Eun Ja Lee(宣教師)
総 丸山 桂(総合政策学部4年)
聖和 林 昌利(日本基督教団 芦屋山手教会牧師)

11月16日(金) 神 English Chapel -Theology in Dialogue-
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
人 嶺重 淑(宗教主事)
理 前川 裕(宗教主事)

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
11月16日(金) 司法研究科のために 亀井 尚也(司法研究科長)

私を励ます聖書－チャペル週報の効用－

志 甫 啓

毎週楽しみにしているチャペル週報に初めてエッセイを寄せる機会を得ました。聖書を持っている関学生の多くに、少しでもチャペル週報に関心を持ち、関西学院が大切にしてきたこの伝統に目を向けてほしいと願っています。

様々な方によるエッセイと同じくらい私にとって楽しみなのは、表紙に掲げられた聖句です。私は中学生の時に初めて自分の聖書を手にし、それ以来、色々な機会に触れてきた聖句に線を引いてきました。チャペル週報の聖句を、中学生の時から使い続けている聖書で確認すると、既に線が引かれていることもありますし、そうでないこともあります。そのいずれもが、私にとって刺激になっています。

まだ線が引かれていない箇所は、新たな言葉との出会いですから、当然かもしれません。嬉々として線を付します。既に線が引かれた箇所も面白いものです。その聖句とどのようにして出会ったのかを思い出し、当時の気持ちと、現在の聖句の受け止め方を知らず知らずのうちに比較しています。線を引いて読んだ本は特別ではないでしょうか。線を引かずに読んだ本は、読み返す際、一から読み直しとなるケースが多いと思います。線を引いておくと、読み返す際、かつて線を引いた自分と向き合えますし、線を引いた時と現時点における自身の受け止め方の違いを実感できます。

疲れたとき、ふと聖書を手に取り、励まされることが増えてきました。実は、私を励まし勇気づけてくれるのは、ほとんどの場合、線が引かれた箇所なのです。皆さんも、「私を励ます聖書」を作ってみませんか。キリスト教学の授業、日々のチャペル、そしてこのチャペル週報の表紙の聖句等々。是非、自分の聖書に線を引いてみてください。その聖書が、自分にとって特別な聖書となり、将来、皆さんを励ましてくれると思います。

チャペル週報には50年近い歴史があるそうです。学期期間中、原則として毎週欠かさず発行されてきた歴史を思うと、現在担当して下さっている方々やこれまで歴史を絶やすことなく紡いでこられた方々への感謝の念を禁じ得ません。なお、宗教センターのウェブサイトにはバックナンバーが掲示されています。チャペル週報を入手できなかったときも安心です。訪ねてみてください。

(国際学部教授)

●大学主催秋季人権問題講演会「終わっていない原発避難」

2011年3月、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故が起こり、大勢の人が避難指示を受けて、あるいは事故による放射能汚染を懸念し、遠く離れた場所に避難をしました。本講演では、そうした避難者が直面した事実の一部を紹介し、みなさんに考えていただく機会としたいと思います。

◆2018年11月14日(水)15:10~16:40

場所:メアリー・イザベラ・ランバスチャペル(西宮聖和キャンパス)

◆2018年11月15日(木)

場所:Ⅱ号館201号教室(神戸三田キャンパス)11:10~12:40

場所:関西学院会館「光の間」(西宮上ヶ原キャンパス)15:10~16:40

◆講師/松田曜子(長岡技術科学大学准教授)

*本講演会では手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。また、録音、録画を行い図書館資料として保存しますのでご利用下さい。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】

(17:50~18:20 1405教室)

11月主題:「真の共生社会を目指して」

15日(木) 山本 俊正(商学部宗教主事)

22日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

29日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

●オルガン音楽の泉 2018 Fall semester

パイプオルガンの響きに想うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第29回 11月16日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第30回 12月5日(水) 桑山 彩子(京都カトリック河原町教会オルガニスト)

いずれも12:50~13:20[開場12:40予定]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

●関西学院会館の日曜礼拝

授業・試験期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

11月25日(日) 10:00~11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。

参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

と き:12月21日(金)17:30開場 18:30開始 20:50終了予定

ところ:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

参加費(入場料):2000円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売:

* 関西学院大学生協(TEL 0798-53-5150)

* チケットぴあ(TEL 0570-02-9999) Pコード 130-125

* ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:サークルK、サンクス、セブン・イレブン

* ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333)

お問合せ:関西学院宗教センター(TEL 0798-54-6018)

主催:関西学院 共催:関西学院後援会・関西学院同窓会